



Q1 なぜ、区役所、市民館、図書館は移転するの？

A1 移転・整備によって、アクセスやバリアフリーなど施設の課題の解消に加え、施設の利便性、耐震性、機能性向上などの効果が期待されます。このほか、市民意見としていただいた課題への対応を含め、現施設の継続利用と移転・整備の検討を行った結果、今回の再開発に合わせて移転・整備し、持続可能で宮前区全体の活性化を促す「核」としてのまちづくりを進めていくこととしました。

Q3 新しい宮前市民館・図書館や区役所は、いつ、どこにできるの？

A3 現在の事業計画では、市民館・図書館は駅前街区の再開発ビルの低層階に整備し、令和14(2032)年度に移転する計画です。また、区役所は北街区の再開発ビルの低層階に整備し、令和18(2036)年度に移転する計画です。

Q5 再開発で交通量が増え、駅周辺の道路が渋滞するのでは？

A5 バスターミナルの出入口周辺に3箇所ある交差点を1箇所集約することや、周辺道に左右折レーンを設置することなどにより、通過交通に配慮した駅周辺の交通流の改善を図っていきます。なお、令和6(2024)年4月に準備組合が公表した環境アセスメント条例評価書において、これらの措置等を講じることで計画地周辺地域の生活環境の保全に支障はないものと評価されています。

Q2 鷺沼駅前に移転すると、遠くなって不便になる地域もあるのでは？

A2 再開発で、鷺沼駅のバスターミナルを約2倍の広さにし、バス乗降場を増設することで、小田急沿線からバス路線の新設や、向丘地区からの増便を行うなど、市民の皆さまの利便性向上と、宮前区全体の発展に向け、バス事業者と連携した取組を進めています。

Q4 現在の宮前区役所や市民館・図書館はどうなるの？

A4 現在の宮前区役所や市民館・図書館は鷺沼駅周辺に移転します。鷺沼駅周辺に新施設がオープンしたあとの現在の施設・用地の活用方法については、令和10(2028)年度に策定予定の「(仮称)宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」においてお示しする予定です。

Q6 フレルさぎ沼は無くなってしまおうの？

A6 鷺沼駅周辺の再開発事業が決定しており、フレルさぎ沼はその再開発の対象エリア内に位置しています。そこで今後の計画を鑑み、令和7(2025)年4月中旬頃をもってフレルさぎ沼の営業を終了し、現在のフレルさぎ沼第二駐車場の敷地の一部に建設した仮設店にて、地域の皆さまへの生活利便機能としてサービスを展開させていただきますと伺っております。



お問い合わせ先

- 再開発事業など、まちづくりに関すること
まちづくり局地域整備推進課 TEL: 044-200-0483
市民館・図書館に関すること
教育委員会事務局生涯学習推進課 TEL: 044-200-1981
区役所に関すること
宮前区役所企画課 TEL: 044-856-3170
新区役所の整備・向丘出張所の活用に関すること
市民文化局区政推進課 TEL: 044-200-2490
現区役所等施設・用地の活用に関すること
総務企画局公共施設総合調整室 TEL: 044-200-0755

ホームページなどで 取組内容をお知らせ中!

ニュースレター第1~5号もこちらでご覧いただけます。

ネット質問フォームを設置しています!

令和7(2025)年3月31日まで、本プロジェクトへの質問を受け付けています。ホームページの質問フォームかFAX(200-0984)でまちづくり局地域整備推進課まで。
いただいた質問については、質問の要旨と本市の見解をあわせてホームページ上に公表します。



宮前区 ミライづくり

宮前区のミライづくりプロジェクトニュース 第6号

令和7(2025)年2月発行 発行元 | 川崎市

多様なライフスタイルが実現できるまちを目指して

鷺沼駅前の再開発とあわせて 宮前区役所、市民館・図書館の 鷺沼駅前への移転など

宮前区全体の将来を見据えた 取組を進めています



①駅前広場パス(組合提供)



②完成予想パス(組合提供)

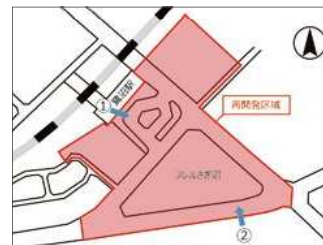
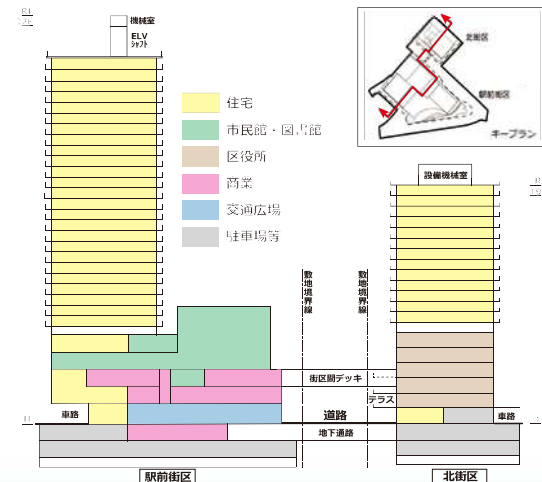


Table comparing development metrics for Station Front Area and North Area, including land area, building area, and floor count.



※本資料で使用されている図やパスは、今後変更になる可能性があります。

ミライづくりプロジェクト



川崎市では、区全体をより発展させるための取り組み(宮前区のミライづくりプロジェクト)を進めています。

宮前区役所、市民館・図書館の移転に向けて

●区役所

令和11(2029)年度の基本計画の策定に向けて、来庁者にとって利用しやすい環境の構築や、将来にわたって市民ニーズに応じたきめ細やかなサービスを提供できるよう検討を進めていきます。

●市民館・図書館

下記のコンセプトに基づき、ホールや会議室、図書館スペースをどのように配置するか検討しており、令和14(2032)年度のオープンに向けて、設計や工事を進めていきます。

新宮前市民館・図書館のコンセプト

- 行きたくなる
- まちに飛び出す
- 地域の“チカラ”を育む
- 空間・機能が“融合”する
- 区役所・民間などと連携する

現区役所等施設・用地の活用に向けて

再開発事業のスケジュール変更により生じた時間を最大限に活用して、現在の施設・用地の活用コンセプトや導入機能のイメージ等を取りまとめる活用基本方針の策定に向けた新たな取組として、実践的な取組を行います。

実践的な取組とは？

これまで市民の皆さまからいただいた様々なアイデア等を活かし、いまの場所で実際に試してみるなどの方法で、持続可能性を考慮した検討を深めていきます。

向丘出張所の機能の充実に向けて

「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針」(令和4(2022)年2月策定)に基づき、「多世代が気軽に立ち寄り、人や活動につながる、向丘地区の核となる出張所」を目指し、市民の皆さまと一緒に、出張所の一層の活用を図るための取組を進めていきます。



出張所ロビーを会場にカフェとコンサートが行われた「お月見カフェ」(令和6年9月開催)

駅アクセス向上に向けて

再開発事業により、交通広場の拡充整備や交差点の集約化など、駅周辺の交通環境の改善を行います。

また、路線バスネットワークの充実に向け、今後、交通広場の供用開始次期を見据え、バス事業者と連携した取組を進めていきます。



鷺沼駅前交通広場(現状)

年度	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	R16(2034)	R17(2035)	R18(2036)	
ミライづくりプロジェクト	市民館 図書館	基本方針策定	基本的な考え方・基本計画策定	設計・管理運営計画策定に向けた取組					管理運営計画策定	整備工事					供用開始					
	区役所		施設全体の設計との調整				基本計画策定に向けた取組				基本計画策定	設計			整備工事			供用開始		
	現施設用地		基礎調査・市民参加による検討・実践的な取組								活用に関する基本的な考え方策定	活用基本方針策定	市民参加による実践的な取組の展開					新用途整備等		
	向丘出張所		市民参加による検討	活用方針策定	活用方針に基づく取組の推進															
再開発	計画検討	環境アクセス手続・都市計画手続				基本設計	組合設立手続	実施設計	駅前街区工事					竣工	北街区工事			竣工		

鷺沼駅前地区再開発事業の進捗状況について

令和6(2024)年9月20日に事業者から提出された組合設立認可の申請を受け、内容を審査し、11月11日付けで、組合設立を認可しました。事業者に対しては、引き続き早期の着工、供用開始が実現できるよう指導・要望してまいります。



再開発HPをご覧ください

令和5(2023)年度

令和6(2024)年度

令和7(2025)年度～

都市計画決定

組合設立認可

権利変換認可、工事着手

バスロータリー、道路等工事



今回のトピック

昭和大学鷺沼キャンパスの整備について

鷺沼駅北側で、学生2,000人が学ぶ「昭和大学鷺沼キャンパス」を令和9(2027)年4月(予定)に開設する計画が進められています。



鷺沼キャンパス計画イメージ図(昭和大学提供)



昭和大学HPをご覧ください

